



26

第2章 平面上のベクトル 1・ベクトルとその演算

4 ベクトルの内積 (その6)

(1/4) ■ ベクトルの垂直条件③ ■

ベクトルの垂直条件③

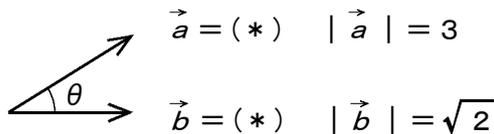
★解法の技術★

次の問いに答えなさい。

- (1) $|\vec{a}| = 3$, $|\vec{b}| = \sqrt{2}$ で, $\vec{a} - \vec{b}$ と $\vec{a} - 6\vec{b}$ が垂直であるとき, 2つのベクトル \vec{a} , \vec{b} のなす角 θ を求めなさい。
- (2) $|\vec{a}| = |\vec{b}| = 2$, $\vec{a} \cdot \vec{b} = -3$ とする。 $\vec{a} + \vec{b}$ と $\vec{a} + t\vec{b}$ が垂直になるような実数 t の値を求めなさい。

[答 案]

(1) 《条件》



$$\vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}| |\vec{b}| \cos \theta = 3 \times \sqrt{2} \times \cos \theta = 3\sqrt{2} \cos \theta \quad \dots \textcircled{1}$$

$$(\vec{a} - \vec{b}) \perp (\vec{a} - 6\vec{b}) \quad \dots \textcircled{2}$$

▲成分が与えられていないときは, 内積の定義を使う。

《問題》

①と②より,

$$(\vec{a} - \vec{b}) \cdot (\vec{a} - 6\vec{b}) = |\vec{a}|^2 - 7\vec{a} \cdot \vec{b} + 6|\vec{b}|^2 = 0 \quad \leftarrow \text{ベクトルの垂直}$$

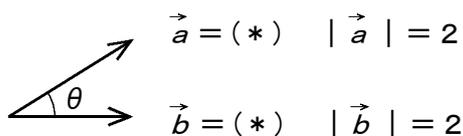
$$3^2 - 7 \times 3\sqrt{2} \cos \theta + 6 \times (\sqrt{2})^2 = 0$$

$$9 - 21\sqrt{2} \cos \theta + 12 = 0$$

$$\cos \theta = \frac{1}{\sqrt{2}}$$

 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ より, $\theta = 45^\circ$

(2) 《条件》



$$\vec{a} \cdot \vec{b} = -3 \quad \dots \textcircled{1}$$

$$(\vec{a} + \vec{b}) \perp (\vec{a} + t\vec{b}) \quad \dots \textcircled{2}$$

◀成分が与えられていないときは, 内積の定義を使う。

(次のページへつづく) ↗

□ □ 【ベクトルとその演算 No. 26 (1 / 4)】 - 〈2枚目 / 2枚〉

➤ (前のページからのつづき)

《問題》

①と②より,

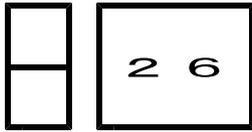
$$(\vec{a} + \vec{b}) \cdot (\vec{a} + t \vec{b}) = |\vec{a}|^2 + (1+t)\vec{a} \cdot \vec{b} + t|\vec{b}|^2 = 0$$

◀ 垂直だから、
内積=0

$$2^2 + (1+t) \times (-3) + t \times 2^2 = 0$$

$$4 - 3 - 3t + 4t = 0$$

$$t = \underline{-1}$$



第2章 平面上のベクトル 1・ベクトルとその演算

4 ベクトルの内積（その6）

(2/4) ■ ベクトルの垂直条件③ ■

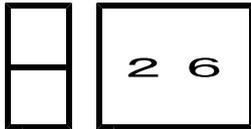
◇ 《ベクトルの垂直条件③》 **学力化** → /

★理解のチェック★

次の問いに答えなさい。

- (1) $|\vec{a}| = 1$, $|\vec{b}| = 2$ で, $\vec{a} + \vec{b}$ と $5\vec{a} - 2\vec{b}$ が垂直であるとき, 2つのベクトル \vec{a} , \vec{b} のなす角 θ を求めなさい。
- (2) $|\vec{a}| = 3$, $|\vec{b}| = 2$, $\vec{a} \cdot \vec{b} = 3$ とする。 $\vec{a} + t\vec{b}$ と $\vec{a} - t\vec{b}$ が垂直になるような実数 t の値を求めなさい。
-

[答 案]



第2章 平面上のベクトル 1・ベクトルとその演算

4 ベクトルの内積（その6）

(3/4) ■ ベクトルの垂直条件③ ■

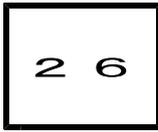
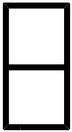
◇ 《ベクトルの垂直条件③》 **学力化** → /

★演習★【1】

次の問いに答えなさい。

- (1) $|\vec{a}| = 2$, $|\vec{b}| = 1$ で, $\vec{a} - \vec{b}$ と $2\vec{a} + 5\vec{b}$ が垂直であるとき, 2つのベクトル \vec{a} , \vec{b} のなす角 θ を求めなさい。
- (2) $|\vec{a}| = 1$, $|\vec{b}| = 3$, $\vec{a} \cdot \vec{b} = 3$ とする。 $\vec{a} + \vec{b}$ と $\vec{a} + t\vec{b}$ が垂直になるような実数 t の値を求めなさい。

[答 案]



第2章 平面上のベクトル 1・ベクトルとその演算

4 ベクトルの内積 (その6)

(4/4) ■ ベクトルの垂直条件③ ■

◇ 《ベクトルの垂直条件③》 **学力化** → /

★演習★【2】

次の問いに答えなさい。

- (1) $|\vec{a}| = 2$, $|\vec{b}| = 1$ で, $\vec{a} + \vec{b}$ と $2\vec{a} - 5\vec{b}$ が垂直であるとき, 2つのベクトル \vec{a} , \vec{b} のなす角 θ を求めなさい。
- (2) $|\vec{a}| = |\vec{b}| = 2$, $|\vec{a} + \vec{b}| = 2$ とする。 $\vec{a} + \vec{b}$ と $\vec{a} + t\vec{b}$ が垂直になるような実数 t の値を求めなさい。

【考え方】 (2) ベクトルの和の大きさを2乗すると内積が現れる。

$$|\vec{a} + \vec{b}|^2 = 2^2$$

$$|\vec{a}|^2 + 2\vec{a} \cdot \vec{b} + |\vec{b}|^2 = 4$$

この式を利用すると, $|\vec{a}|$ と $|\vec{b}|$ が分かれば, $\vec{a} \cdot \vec{b}$ の値が求まる。

[答 案]